

平成 30 年度

看護管理学／看護体系・機能学分野  
基礎看護学教室

# 年報

2018 年 4 月 1 日—2019 年 3 月 31 日

## 巻頭言

### 私たちの「看護管理学」宣言

2018（平成30）年度は、私が看護管理学／看護体系・機能学分野（基礎看護学教室）に着任して4年目の1年でした。この1年で一番うれしく思うことは、大学院生が力をつけ、大学院生室としての活動が活発になってきたことです。前年度に初めての修士課程修了生を出し、うち4名が博士課程に進学しました。修士課程2年次5名、1年次1名、中国からの研究生1名に卒論生・学部所属生の2名が加わって、研究室所属の学生は過去最多の13名になりました。当研究室で初めて博士課程の院生が誕生するため、2018年度重点目標の1つ目に「大学院生室運営体制の基盤をつくる」ことを挙げました。実際に、博士課程の4名がリーダーシップをとって、学習会を行ったり、イベントを企画したり、後輩の研究に助言したりして、互いに励まし合い、指摘し合い、学び合う風土が生まれたと思います。大学院生が筆頭の学会発表も昨年度の5件から17件（うち5件は海外）に増え、ゼミでの発言も少しずつ活発になり、研究室の研究プロジェクトでもしっかりと役割を果たしてくれました。研究者として力をつけていく姿をみて、頼もしく思います。

教員の異動としては、5月1日付で市川奈央子特任助教が助教に就任し、木田亮平特任助教が着任しました。看護管理学を専門とする4名の教員が所属し、それぞれが自分の研究を進めながら、ともに議論し、共同で研究プロジェクトを担える体制ができたことは本当にありがたく恵まれた環境にあると感じます。年度途中に「看護職員確保対策に向けた看護職及び医療機関等の実態調査」「看護師による総合的評価を利用した各疾患の負荷係数の推計」の研究プロジェクトを開始できたのも、この体制があったからこそです。客員研究員や非常勤講師など学外から折々に多くの方々に支援していただいたことに深く感謝しています。

昨年度の年報で、看護管理学とは何か、私たちが取り組む課題は何かという問いの答えをようやくみつけたと書きました。看護管理学は看護の力をより効果的に患者に届け、社会に活かす方法を探求する学問であり、看護の視点や価値観を組織活動に活かすことを追究する学問だということ。そして、この学問を定義し追究する者として、患者、看護職及びその他の医療従事者、組織、社会—そのすべてとその未来に幸せ（well-being）をもたらすことを目指して、人や組織が潜在的にもつ力を最大限に引き出す仕組みや方法を明らかにすることに取り組むのだということ。

この1年間、自分自身を含めて教員や大学院生の研究活動をみながら、私たちの取り組みを以下のように整理しました。これは、これから取り組んでいく研究の宣言でもあります。私たちが行っている研究の一つひとつは、複雑な組織現象を一つひとつ解明する作業です。さまざまなアプローチを取り入れ、小さなことでも、何かを新しく明らかにする作業を重ねていきましょう。そのことが働く人々と組織というものを深く理解することにつながるはず。また、組織が発展したり活性化する鍵となる要因やプロセスを追究していきましょう。組織に変化をもたらす、多くの人々に幸せをもたらす力を持つ「知」を届けるために。そして、そのためにも、組織のダイナミクスを描く新しい研究方法を開発していきましょう。

今の恵まれた環境に感謝しながら、同じ志をもつ学内外の多くの仲間とともに「看護管理学」の発展に取り組んでいきたいと思えます。

平成31年4月8日  
准教授 武村雪絵

## 主な出来事

2018年4月

博士課程4名進学

修士課程1名入学

2018年5月

特任助教から助教へ1名異動

特任助教1名着任

卒論生 1名受入れ

教室所属学部生1名受入れ

2019年1月

修士課程学生5名修士論文提出

2019年3月

修士課程学生5名修了（3名進学、2名就職）

学部生2名卒業

## 教室員

### 准教授

武村雪絵

### 助教

國江慶子

市川奈央子

### 特任助教

木田亮平

### 非常勤講師

石田昌宏（参議院議員）

井出恵似子（東京ベイ・浦安市川医療センター 経営企画室 企画室補佐）

笥 淳夫（工学院大学 建築学部 建築デザイン学科 教授）

川添高志（ケアプロ株式会社 代表取締役）

島田陽子（厚生労働省医政局看護課 課長）

水流聡子（東京大学大学院工学系研究科 教授）

平林勝政（國學院大学 名誉教授）

### 事務員

小川繁子

### 客員研究員

池田真理

大西淳子

小澤茉祐

奥山絢子

川口倅左

栗原良子

坂木晴世

柴田めぐみ

佐々木美奈子

佐藤博子

津川修一

竹原君江

真下綾子

馬奈木俊介

大学院生

博士課程 1 年

磯部環

駒形万里絵

佐伯昌俊

船越千佳

修士課程 2 年

石井馨子

甲斐貴雅

田中慎吾

長坂雄太

高橋好江

修士課程 1 年

井上真帆

研究生

蔣思思

学部生

荻野将輝

金平美咲

## 学部講義

基礎看護学教室は、看護学概論、基礎看護学Ⅰ、看護支援技術論、基礎看護学実習、看護管理学・看護管理学実習、基礎看護学Ⅱ、看護学概論（駒場）を担当した。

### 看護学概論

講義題目 /Subtitle	看護学概論
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	看護の概要を理解し、看護の基盤となる価値観（人間観、倫理観、生命/生活/健康観）を学ぶことを目的とする。 看護を学ぶ上で基礎となる看護の構成概念（パラダイム）や機能を理解し、看護の諸理論、看護の対象や看護の実際について講義や討議を通じて学ぶ。 最終回は医学科・薬学部との合同授業（Interprofessional Education: IPE）として、多様な価値観に触れ、自己の価値観を相対化し、自分と異なる価値観への受容性を高める。
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese 看護学、看護の概念、看護の機能、看護理論、看護過程 英語用 /English nursing, concepts of nursing, functions of nursing, nursing theory, nursing process
授業計画 /Schedule	9月25日(火)看護とは 10月 2日(火)看護の提供者と対象の理解 10月9日(火)看護を語る 10月16日(火)看護過程 10月23日 (火)看護における倫理 10月30日 (火)看護理論発表 11月 6日(火)多職種連携 (IPE) (医学科・薬学部との合同授業) (注)非常勤講師の都合により、内容に変更がある。
授業の方法 /Teaching Methods	講義、グループワーク、ディスカッション
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席状況と課題発表、レポートにより評価を行う。
教科書 /Textbook	各講義で資料を配布する
参考書 /Reference	看護学概論-基礎看護学<1> (医学書院) 看護学概論-看護追及へのアプローチ 第4版 (医歯薬出版株式会社)
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	出席が3分の2に満たない場合は単位を取得できない。 また、正当な理由なき遅刻及び退席が30分を超えた場合には、当該講義コマは欠席扱いとする。
関連ホームページ /Course-Related Websites	<a href="http://nurs-adm.umin.jp/education/">http://nurs-adm.umin.jp/education/</a>
その他 /Others	講義スケジュールは、講師の都合などにより変更になる場合がある。 最終回は医学科・薬学部との合同授業であり、時間と場所が変則的なので注意する。 講義時間は10:00~12:00（予定）、講義場所は後日お知らせする。

※非常勤講師：小池紀子（東京大学医学部附属病院 副看護師長）

村田 玄（東京大学医学部附属病院 看護師）

## 基礎看護学 I

講義題目 /Subtitle	基礎看護学 I
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	人を理解し援助するための知識・技術を学ぶことを目的とする。 患者に適切なケアを提供するための思考過程（看護過程）、患者を知る技術（問診、バイタルサイン）、患者をケアする技術（食事）、患者の環境を整える技術（感染管理、シーツ交換、環境整備）について、講義や演習を通して身につける。また、病院見学実習を通して、患者の療養環境や看護の実際を見学し理解を深める。
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese 看護、看護過程、看護方法論、看護技術 英語用 /English nursing, nursing process, methodology of nursing, nursing skill
授業計画 /Schedule	11月29日(木) 患者から聞く技術：問診 12月 6日(木) 安全な環境を整える技術：感染管理（東大病院 感染管理認定看護師） 12月13日(木) 患者に適切なケアを提供するための思考過程：看護過程 12月20日(木) 早期体験実習（東大病院） 12月27日(木) 患者を診る技術：バイタルサイン 1月10日(木) 患者の回復力を妨げない技術：療養環境 1月17日(木) 患者の回復力を支援する技術：食事※食事介助の演習を行うのでアレルギーがある学生は事前に相談すること。その他準備する物品は事前に通知する。
授業の方法 /Teaching Methods	講義及び演習、実習を行う。
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席状況と課題とレポートにより評価を行う。
教科書 /Textbook	各講義で適宜資料を配布する。
参考書 /Reference	ナーシングスキル(通年使用できるライセンスを付与する) 基礎看護技術 I・II (医学書院) 基礎看護技術 I・II (メヂカルフレンド社)
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	看護学概論（A1ターム）の単位取得を履修条件とする。 演習中心に行うため、正当な理由なき遅刻、欠席は認められない。 また、正当な理由なき遅刻および退席が30分を超えた場合には、当該講義コマは欠席扱いとする。
関連ホームページ /Course-Related Websites	<a href="http://nurs-adm.umin.jp/education/">http://nurs-adm.umin.jp/education/</a>
その他 /Others	授業スケジュールは講師の都合により変更になる場合がある。 演習を行うため、動きやすい服装（ハイヒール、サンダル、スカートは避けること）で出席すること。

※非常勤講師：三橋美野（東京大学医学部附属病院 感染対策センター主任副看護師長）

## 看護支援技術論

講義題目 /Subtitle	看護支援技術論
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	看護支援技術論では、人を理解し援助するための知識・技術を学ぶことを目的としている。具体的には、フィジカルアセスメントの技術と療養生活における基本的な援助技術を学ぶ。
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese 看護,基礎看護技術,フィジカルアセスメント 英語用 /English nursing, basic nursing skills
授業計画 /Schedule	7月2日(月) ・フィジカルアセスメントの基礎 ・フィジカルアセスメント(呼吸系、循環系、消化系、泌尿器系) 7月4日(水) ・フィジカルアセスメント(運動系・神経系) ・移動・移乗・ポジショニング 7月6日(金) ・身体の清潔(清拭、更衣、洗髪、足浴) 7月9日(月) ・排泄ケア(導尿、床上排泄、陰部洗浄、おむつ交換) 7月11日(水) ・基礎看護学実習オリエンテーション ・技術テスト
授業の方法 /Teaching Methods	講義および演習
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席、演習への取り組み、技術テストにより評価を行う。
教科書 /Textbook	各講義で資料を配布する
参考書 /Reference	ナーシングスキル(通年使用できるライセンスを付与する) 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ(医学書院) 基礎看護技術Ⅰ・Ⅱ(メチカルフレンド社)
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	履修条件：看護学概論、基礎看護学Ⅰ、ヘルスコミュニケーション学、病態疾患論、疾病論、免疫と生態防御、救急処置の全課題を終了し、単位を取得(見込み)していること。 演習中心に行うため、正当な理由なき遅刻、欠席は認められない。 演習の進行状況によっては、5限まで延長する可能性がある。
関連ホームページ /Course-Related Websites	<a href="http://nurs-adm.umin.jp/education/">http://nurs-adm.umin.jp/education/</a>
その他 /Others	演習を行うため、動きやすい服装(ハイヒール・サンダル・スカートは避ける)で講義に出席すること。 秒針のある時計、聴診器を持参すること。 技術テストは、看護学実習用ユニフォームと靴を着用して行う。

## 基礎看護学実習

### 1. 目的

病院において療養生活をしている患者を理解し、基本的看護技術を臨床現場において適用するとともに、看護過程について実践を通して学ぶ。

### 2. 目標

- (1) 病院という場、看護師の役割および病院での療養生活の概要についての理解を深める。
- (2) 担当患者の状態に応じて、適切な患者—看護師関係を築くことができる。
- (3) 健康障がいがある患者の日常生活にどのように影響しているかを観察し、考えることができる。



(4) 担当患者の状態に応じて、日常生活の援助を实践できる。

(5) 担当患者の状態をアセスメントし、看護上の問題および目標を明らかにすることができる。

### 3. 実習施設

東京大学医学部附属病院 (A棟 6階北病棟・A棟 8階北病棟・A棟 11階南病棟)

### 4. 実習期間

平成30年7月17日(火)～平成30年7月27日(金)

### 5. 実習内容及び進め方

- ・ 病棟での実習時間は8:00～16:00とし、昼食のための休憩を1時間取る。
- ・ 各学生が一人の患者を受け持つ。
- ・ 実習指導者及び担当教員の指導を受けながら、日常生活援助を病棟での看護に組み入れて実践する。
- ・ 日常生活援助の計画については、日々の実習記録に記載し、毎日の実習開始時に実習指導者及び担当教員の指導を受ける。
- ・ 患者についての情報収集・アセスメントを行い、指導の下に患者の全体像を理解するとともに、看護問題を明確化し看護目標を立てる。
- ・ 看護目標にもとづき、看護計画を立案、実施・評価する。
- ・ 毎日の実習終了時に30分程度のショートカンファレンスを行い、その日に学んだことや、看護活動を展開する上で検討を要することについて実習指導者及び教員とともに話し合う。
- ・ 7月20日(金)の午後にロングカンファレンスを行い、患者の全体像の整理、関連図の修正、看護計画の立案などについて実習指導者及び教員とともに話し合う。
- ・ 7月23日(月)午前中に週末の様子などを踏まえて、実習指導者及び教員とともに看護計画の修正を行う。
- ・ 7月24日(火)午後は学内日とし、それまでの様子や指導内容、ケアの実施・評価を踏まえ看護計画を修正する。
- ・ 7月26日(木)午前中に全体発表会を行う。病棟実習全体を通して患者との関わりや看護について学んだことを各学生が発表し、病院看護部・病棟師長・実習指導者・担当教員と共有する。

### 6. 病棟実習全体発表会について

#### (1) 発表内容

- ・ 受け持ち患者を紹介するとともに、実施したケアとその評価や患者との関わりの変化など、テーマを決めて発表する。実習の感想を含めても良い。

#### (2) 発表時間

- ・ 学生一人あたり5分程度

### 7. 評価方法

- ・ 出席、実習内容及び実習記録、レポートによって総合的に評価する。

### 8. 提出物について

(1) ①毎日提出：「1日の行動計画」、「温度版」

②実習中に提出

- ・ 「基礎情報」、「薬一覧」：平成29年7月19日(木)の実習開始時
- ・ 「関連図」、「問題・課題リスト」：平成29年7月20日(金)の実習開始時

・「看護計画」：平成 29 年 7 月 23 日（月）の実習開始時

※ ①、②を必要時修正加筆し、実習終了後（2）のレポートと一緒に提出する。

(2) レポート課題

①臨床実習で学んだこと（A4 サイズ、2 頁以内、表紙不要）

期限：平成 30 年 7 月 30 日（月）17：00

9. その他

(1) 全出席を原則、遅刻は厳禁とする。やむを得ない事情で欠席する場合は、指導教員に速やかに連絡を取ること。

(2) 実習中は病院内の更衣室を借用し、実習衣、ナースシューズを着用する。ロッカーの鍵を借用するため紛失しないよう管理し、実習終了後、教員に返却すること。

## 看護管理学

講義題目 /Subtitle	看護管理学
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	看護管理学の概要と看護管理実践に必要な基礎的知識を学ぶ。さらに、看護管理の視点から看護の現場に起こる現象と、諸課題を理解し、その対応策について検討する。具体的には、看護管理学概論、組織と人の管理、看護を提供する仕組み、キャリア、看護に関する政策、情報の管理、医療安全、医療や看護の質保証などについて学ぶ。
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese 看護管理, 医療の質 英語用 /English nursing management, health care quality
授業計画 /Schedule	① : 4月 9日 看護管理の基礎知識 ②③ : 4月16日 組織と人/看護提供システム/看護に関する政策動向、政策過程 ④⑤ : 4月23日 資源の管理/医療安全と質保証/チームコミュニケーション ⑥ : 5月 7日 キャリアと生涯学習 ⑦ : 5月14日 情報の管理
授業の方法 /Teaching Methods	講義およびディスカッション
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席および課題により評価を行う。
教科書 /Textbook	各講義で資料を配布する
参考書 /Reference	ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践①看護管理（メディカ出版）
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	出席が3分の2に満たない場合は単位を取得できない。 正当な理由なき遅刻及び退出が30分を超えた場合には、当該講義コマは欠席扱いとする。
関連ホームページ /Course-Related Websites	<a href="http://nurs-adm.umin.jp/">http://nurs-adm.umin.jp/</a>
その他 /Others	授業スケジュールは講師の都合等により変更になる場合がある。

## 看護管理学実習

1. 目的

病院管理・看護管理の実際について見学実習し、管理者との話し合いなどを通じて、病院管理・看護管理の諸課題への視点を養う。

## 2. 目標

講義やこれまでの看護学実習をふまえ、よりよい医療・看護を提供していくための組織運営・管理の実際を見学実習する。

## 3. 看護管理学実習の着眼点

- 組織理念と組織運営      ○ ひとの管理      ○ 教育・キャリア発達支援
- 医療安全・質管理      ○ 情報共有と情報管理      ○ 看護提供システム

## 4. 実習施設・実習期間

- (1) 東京大学医学部附属病院      : 2日 (5月29・30日)
- (2) 聖路加国際病院      : 1日 (5月21日)
- (3) 東京大学医科学研究所附属病院      : 1日 (5月28日)
- (4) まとめ      : 1日 (5月31日)

## 5. 実習内容

### (1) 東京大学医学部附属病院

実習部署：病棟、外来等（各部署1名ずつ）

- ① 看護部より、病院全体の看護管理について講義を受ける。
- ② 看護師長業務・リーダー病棟業務を見学する。（各部署の看護師長・主任と行動する）
- ③ 実習のまとめ（実習内容の発表と共有する）

### (2) 聖路加国際病院

実習部署：病棟、外来、薬剤部、用度課（SPD）、栄養科、施設環境整備課など  
（各部署1～2名ずつ）

- ① 看護部の概要紹介
- ② 各部署の概要の説明を受けるとともに、担当部署の管理の実際を見学実習する。  
（各部署の看護師長または部署責任者と行動する）
- ③ 実習のまとめ（実習内容の発表と共有する）

### (3) 東京大学医科学研究所附属病院

実習前にテーマ（質管理や教育体制、情報管理など）を決定し、見学を行う。

- ① 看護部の概要紹介
- ② 決定したテーマを中心に見学実習する。
- ③ 実習のまとめ（実習内容の発表と共有する）

## 6. 評価方法

出席点とレポートで総合的に評価する。

## 7. レポート

- (1) 東大病院における実習で学んだこと及び感想 (A4 サイズで1枚程度)
- (2) 聖路加国際病院における実習で学んだこと及び感想 (A4 サイズで1枚程度)
- (3) 東大医科研病院における実習で学んだこと及び感想 (A4 サイズで1枚程度)
- (4) 前ページ「3. 看護管理学実習の着眼点」の分類を使用し、講義・実習から学んだことを記述 (A4 サイズで2枚程度)

※ (1)～(4) それぞれに学生証番号、名前を記載する。

※ 提出期限：2018年6月8日(金) 17:00

提出先：医学部3号館 S206 (基礎看護学教室 助教室)

## 基礎看護学Ⅱ (選択科目)

講義題目 /Subtitle	基礎看護学Ⅱ
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	自律した専門職として活動する上で基盤となる、「1.自己を磨く」、「2.集団・組織に変化を起こす」、「3.社会を動かす」ための視点とアプローチを学ぶ
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese 専門職 ナースキャリア 英語用 /English professional, careers in nursing
授業計画 /Schedule	4月11日 自らを管理する、自分の未来をデザインする 4月18日 ※4.5限で開講 4限 組織の力を引き出す力① 5限 看護の現場と政治をつなぐ (参議院議員 石田昌宏) 4月25日 ※大学院合同 医療システム社会工学による看護の臨床知の可視化と質保証 (東京大学大学院工学系研究科 水流聡子) 5月2日 組織の力を引き出す力② 5月9日 ※3限のみ 保健医療行政で理想の現実を目指して (厚生労働省 島田陽子) 5月16日 ※大学院合同 建築・環境デザインから医療・看護を変える (工学院大学 寛淳夫) 5月23日 起業という選択 (ケアプロ株式会社代表取締役 川添高志) ディスカッション・セッション
授業の方法 /Teaching Methods	担当教員及び非常勤講師による講義ならびにディスカッション
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席、ディスカッションへの参加、講義後レポートによりに評価する
教科書 /Textbook	指定の教科書はない
参考書 /Reference	各講義で資料の配布、参考図書の紹介を行う
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	開講時間が変則的なので注意すること。(4/18:4・5限、5/9:3限のみ) 講師の都合により日時変更の可能性がある
関連ホームページ /Course-Related Websites	<a href="http://nurs-adm.umin.jp/">http://nurs-adm.umin.jp/</a>
その他 /Others	

※4月25日の講義は5月2日に日程変更

※4月25日は社会福祉法人新生寿会 高齢者保健福祉施設 ありすの杜きのこ南麻布に見学訪問

## 看護学概論Ⅱ（駒場：1・2年生対象）

講義題目 /Subtitle	看護学概論Ⅱ－社会で活躍する看護プロフェッショナル－
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	高度に医療技術が発展してきた現代社会では、疾患を抱えたまま生活する者は多くなり、また、従来の医学モデルでは解決できない、健康への様々なニーズが顕在化してきている。特に少子高齢化が高度に進んだ日本においては、この社会を看護学モデルとして扱い、新たな対処方法を構築することへの社会的期待が高まっている。つまり、生きることを支える学問である看護学は、あらゆる年代の個人から集団、地域社会を対象に、健康の保持増進、疾病の予防、健康の回復、苦痛緩和等について、生涯を通して支援することが出来る。本講義では、保健・医療・福祉の分野における臨床実践や研究、政策活動に至るまで、社会で広く活躍している看護のプロフェッショナルから実際の活動についてご講義いただき、少子高齢社会において看護学が担う役割と今後の看護学の発展について議論する。
授業のキーワード /Keywords	看護、医療、健康、地域社会、人
授業計画 /Schedule	9/27 ガイダンス/よい職場をつくる 10/4 がんの子どもと家族を支える 10/11 災害時の保健活動 10/18 2040年（とその先）を見据えた地域包括ケア体制の構築 10/25 看護とデータと情報システム 11/1 国際看護学のすすめ：文化、習慣や考え方の人を看護するには 11/15 がんとともに生きる人を支える 11/29 看護の力を届けるために 12/6 依存とは何か：アルコール・薬物依存からゲーム依存まで 12/13 認知症を抱えながら生きる人々を支える 12/20 理工学的アプローチにより健康を支える 12/27 女性の健康を支える 1/10 世界の人々の健康のために最新のエビデンスを明らかにする-コクランの挑戦-
授業の方法 /Teaching Methods	講義
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席及び毎回の小レポート

## 大学院講義

看護管理学／看護体系・機能学分野は、看護管理学特論Ⅰ、看護管理学特論Ⅱ、看護体系・機能学Ⅰ、看護管理学・看護体系機能学ゼミを担当している。

### 看護管理学特論Ⅰ

講義題目 /Subtitle	医療・看護における組織現象を理解するための看護管理学の主要概念を学ぶ
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	看護管理学とは、看護の力を効果的に患者に届け社会に活かす方法を探求する学問であり、看護の視点や価値観を組織活動に活かすことを追究する学問である。本科目では、看護管理学において重要な概念である「組織」と「人」を理解する基盤となる理論を学び、さらに組織における人の行動に影響を与える「環境」について学ぶ。また、組織開発、法律、医療システム社会工学、病院経営、建築の各分野で活躍する講師からの講義を受け、ディスカッションを行う。これらを通じて看護管理学の概要及び医療・看護で生じ得る組織現象を理解し、組織に働きかける際、あるいは、組織を研究する際に必要となる知識やパースペクティブを涵養することを目的とする。
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese  英語用 /English 看護管理, リーダーシップ, マネジメント, 組織開発, 質管理, 職場環境 nursing administration, leadership, management, organizational development, quality management, work environment
授業計画 /Schedule	4月9日(月) 1・2限 「組織論、リーダーシップ論」 4月16日(月) 1・2限 「臨床に活かす組織開発」(甲南大学経営学部経営学科 北居明) 4月23日(月) 1・2限 「法律からみた看護」(國學院大学名誉教授 平林勝政) ※4月25日(水) 3・4限 「医療システム社会工学による看護の臨床知の可視化と質保証」(東京大学大学院工学系研究科 水流聡子) 5月7日(月) 1・2限 「病院経営の現場から」(東京ベイ・浦安市川医療センター 井出恵伊子) ※5月16日(水) 1・2限 「建築・環境デザインから医療・看護を変える」(工学院大学 寛淳夫) 5月21日(月) 1限 「ディスカッション・セッション」(1時限のみ)
授業の方法 /Teaching Methods	担当教員及び非常勤講師による講義ならびにディスカッション
成績評価方法 /Grade Evaluation	出席、ディスカッションへの参加、講義後レポート、および最終回のプレゼンテーションと最終レポートにより統合的に評価する
教科書 /Textbook	特になし。 各講義で資料を配布する
参考書 /Reference	特になし。 各講義で参考図書を紹介を行う
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	※の日程は学部合同講義として水曜3・4限に開講するので注意すること。人数によっては教室を変更するので適宜ホームページを確認すること。 講師の都合により日時変更の可能性がある。

### 看護体系・機能学特論Ⅰ

講義題目 /Subtitle	エンゲストローム「拡張による学習—活動理論からのアプローチ」とその応用／研究デザインの基本
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	ユーリア・エンゲストロームの「拡張による学習—活動理論からのアプローチ」を抄読し、「ノット・ワーキング理論」の背景となった思想の理解を深め、組織変革への応用について考える。また、研究デザインについて研究例とともに学ぶ。

授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese  英語用 /English	拡張による学習、活動理論アプローチ、組織変革、論文クリティーク  learning by expanding, activity theoretical approach, organizational development, critique of research articles
授業計画 /Schedule	4/6 (金) 2限 導入 4/20 (金) 1・2限 文献抄読「拡張による学習」1章～2章5節, 研究デザイン 5/11 (金) 1・2限 文献抄読「拡張による学習」2章6節～11節, 研究デザイン 6/1 (金) 1・2限 文献抄読「拡張による学習」3章, 研究デザイン 6/15 (金) 1・2限 文献抄読「拡張による学習」4章, 研究デザイン 6/29 (金) 1・2限 文献抄読「拡張による学習」5章～6章, 研究デザイン 7/13 (金) 1・2限 文献抄読「ネットワークキナー結び合う人間活動の創造へ」「看護管理者のための組織変革の航海術: 個人と組織の成長をうながすポジティブなリーダーシップ」の事例, 研究デザイン	
授業の方法 /Teaching Methods	抄読, クリティーク, ディスカッション	
成績評価方法 /Grade Evaluation	課題, および, ディスカッションへの参加状況	
教科書 /Textbook	ユーリア・エンゲストローム/百合草禎二他訳. 「拡張による学習—活動理論からのアプローチ」. 新曜社, 1999.	
参考書 /Reference	山住勝広, ユーリア・エンゲストローム編. 「ネットワークキナー結び合う人間活動の創造へ」. 新曜社, 2008. 市瀬博基. 「看護管理者のための組織変革の航海術: 個人と組織の成長をうながすポジティブなリーダーシップ」. 医学書院, 2017.	
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	研究論文および文献を読んで参加すること	
関連ホームページ /Course-Related Websites	<a href="http://nurs-adm.umin.jp/education/">http://nurs-adm.umin.jp/education/</a>	
その他 /Others	昨年度までと内容が大幅に変更されているので注意すること。 履修希望者は事前に連絡した上で初回に出席すること。	

## 看護管理学特論Ⅱ

※平成 30 年 9 月—平成 31 年 3 月 日程は一部変更した (抄読リスト参照)

講義題目 /Subtitle	研究論文クリティーク	
授業の目標、概要 /Course Objectives/ Overview	看護管理学に関する研究論文のクリティークを通じて、看護管理学研究の最新のトピックス、方法論、知見を学ぶ。	
授業のキーワード /Keywords	日本語用 /Japanese  英語用 /English	看護管理学, 研究論文クリティーク  nursing administration, critique of research articles
授業計画 /Schedule	10/1 (月) 2限 10/15 (月) 1・2限 11/12 (月) 1・2限 11/26 (月) 1・2限 2019/1/28 (月) 1・2限 2/11 (月) 1・2限 2/25 (月) 1・2限	
授業の方法 /Teaching Methods	論文抄読, および, ディスカッション	
成績評価方法 /Grade Evaluation	課題, および, ディスカッションへの参加状況	
教科書 /Textbook	研究論文は講義において指定する	
参考書 /Reference	適宜講義において紹介する	
履修上の注意 /Notes on Taking the Course	研究論文を読んで参加すること	

2018年度 看護管理学特論Ⅱ 抄読文献

- 9月3日 Steffens, N. K., Shemla, M., Wegge, J., & Diestel, S. (2014). Organizational tenure and employee performance: A multilevel analysis. *Group & Organization Management*, 39(6), 664-690.
- 9月10日 Long-Sutehall, T., Willis, H., Palmer, R., Ugboma, D., Addington-Hall, J., & Coombs, M. (2011). Negotiated dying: a grounded theory of how nurses shape withdrawal of treatment in hospital critical care units. *International Journal of Nursing Studies*, 48(12), 1466-1474.
- 10月22日 Gutierrez, A. P., Candela, L. L., & Carver, L. (2012). The structural relationships between organizational commitment, global job satisfaction, developmental experiences, work values, organizational support, and person - organization fit among nursing faculty. *Journal of advanced nursing*, 68(7), 1601-1614.
- Zou, W. C., Tian, Q., & Liu, J. (2015). Servant leadership, social exchange relationships, and follower's helping behavior: Positive reciprocity belief matters. *International Journal of Hospitality Management*, 51, 147-156.
- 10月29日 Nanjo, Y., Nakagami, G., Kaitani, T., Naito, A., Takehara, K., Lijuan, J., ... & Sanada, H. (2011). Relationship between morphological characteristics and etiology of pressure ulcers in intensive care unit patients. *Journal of Wound Ostomy & Continence Nursing*, 38(4), 404-412.
- Jalil, R., Huber, J. W., Sixsmith, J., & Dickens, G. L. (2017). Mental health nurses' emotions, exposure to patient aggression, attitudes to and use of coercive measures: Cross sectional questionnaire survey. *International journal of nursing studies*, 75, 130-138.
- 11月12日 Hurst, J., Leberman, S., & Edwards, M. (2018). Women managing women: An holistic relational approach to managing relationships at work. *Journal of Management & Organization*, 24(4), 500-516.
- Liang, J., Shu, R., & Farh, C. I. (2019). Differential implications of team member promotive and prohibitive voice on innovation performance in research and development project teams: A dialectic perspective. *Journal of Organizational Behavior*.
- 1月28日 Melkonian, T., Soenen, G., & Ambrose, M. (2016). Will I cooperate? The moderating role of informational distance on justice reasoning. *Journal of Business Ethics*, 137(4), 663-675.
- 2月18日 Blomberg, H., & Stier, J. (2016). Metaphorical expressions used in Swedish news media narratives to portray the shortage of nurses and their working conditions. *Journal of advanced nursing*, 72(2), 382-395.
- Allen, D. G., & Shanock, L. R. (2013). Perceived organizational support and embeddedness as key mechanisms connecting socialization tactics to commitment and turnover among new employees. *Journal of Organizational Behavior*, 34(3), 350-369.
- 2月25日 Lu, C. Q., Wang, H. J., Lu, J. J., Du, D. Y., & Bakker, A. B. (2014). Does work engagement increase person-job fit? The role of job crafting and job insecurity. *Journal of Vocational Behavior*, 84(2), 142-152.
- 3月18日 Mäkikangas, A., Bakker, A. B., & Schaufeli, W. B. (2017). Antecedents of daily team job crafting. *European Journal of Work and Organizational Psychology*, 26(3), 421-433.



## 看護管理学/看護体系機能学ゼミ

平成 29 年 4 月—平成 29 年 5 月 毎週火曜日 9:30-11:30

平成 29 年 6 月—平成 30 年 3 月 毎週火曜日 13:00-15:00

場所：医学部 3 号館 N203

4 月 4 日	ゼミオリエンテーション 教員・M2 自己紹介	10 月 23 日	井上 長坂	研究報告 研究報告
4 月 10 日	D1 自己紹介+研究紹介	10 月 30 日	石井	研究報告
4 月 17 日	研究生自己紹介+研究紹介 M1 自己紹介		甲斐	研究報告
	田中 研究報告	10 月 31 日	M2 全員	スーパーバイズ
4 月 24 日	石井 研究報告	11 月 6 日	磯部	研究報告
	長坂 研究報告		井上	研究報告
5 月 1 日	甲斐 研究報告	11 月 13 日	田中	研究報告
	高橋 研究報告		駒形	研究報告
5 月 8 日	石井 研究報告	11 月 20 日	石井	研究報告
	田中 研究報告		甲斐	研究報告
5 月 15 日	井上 研究報告	11 月 27 日	長坂	研究報告
	甲斐 研究報告		高橋	研究報告
5 月 22 日	蔣 研究報告	12 月 4 日	田中	研究報告
	長坂 研究報告		石井	研究報告
6 月 5 日	佐伯 研究報告	12 月 11 日	甲斐	研究報告
	高橋 研究報告		井上	研究報告
6 月 12 日	高橋 研究報告	12 月 18 日	高橋	研究報告
	石井 研究報告		井上	研究報告
6 月 19 日	駒形 研究報告	12 月 25 日	高橋	研究報告
	磯部 研究報告		駒形	研究報告
6 月 26 日	田中 研究報告	1 月 15 日	石井	予演
	石井 研究報告		田中	予演
7 月 3 日	船越 研究報告	1 月 16 日	長坂	予演
	井上 研究報告		高橋	予演
7 月 10 日	甲斐 研究報告		甲斐	予演
	木田 研究報告		蔣	予演
9 月 4 日	高橋 研究報告	1 月 22 日	M2 全員	予演
	井上 研究報告	1 月 29 日	駒形	研究報告
9 月 11 日	蔣 研究報告		佐伯	研究報告
	田中 研究報告		磯部	研究報告
9 月 18 日	佐伯 研究報告	2 月 19 日	船越	研究報告
	甲斐 研究報告		佐伯	研究報告
9 月 25 日	石井 研究報告		井上	研究報告
	長坂 研究報告	3 月 19 日	甲斐	修士課程を終えて(M2)
10 月 9 日	船越 研究報告		長坂	修士課程を終えて(M2)
	高橋 研究報告		磯部	研究報告

## 学位論文

修士論文（提出：平成 31 年 1 月 9 日／発表会：平成 31 年 1 月 24 日・25 日）  
（学位取得：平成 31 年 3 月 25 日）

石井 馨子. The relationship between organizational learning and critical thinking or ward-level organizational socialization: A cross-sectional survey on acute hospital nurses（組織学習とクリティカルシンキングおよび病棟の組織社会化の関連：急性期病院の看護職を対象とした横断研究）」

甲斐 貴雅 . 看護職が患者に対する怒りに伴い抱える「思考の未統合感」に関する横断研究（A cross-sectional study regarding “the sense of unintegration of thoughts” because of anger toward patients among nurses）

高橋 好江. Workplace experiences of nurses in operating hospitals near the evacuation zone after the earthquake and nuclear accident in Fukushima: A qualitative study（東日本大震災福島原発事故後の避難指示区域隣接地区で稼働を継続した病院における看護師の職場体験:質的研究）

田中 慎吾. Characteristics of space utilization of bed space based on patient condition in territorialized 4-bed rooms of acute care wards: nurse's justification for furniture placement and bed transfers（急性期病棟の個室的多床室における患者の状態に応じた居室の空間利用：看護師判断に基づく備品配置と病棟内転床）

長坂 雄太. 上司—スタッフ間の仲介機能測定尺度の開発：看護組織における信頼性・妥当性の検証（Development of a scale on staff's mediation between supervisors and subordinates : Testing reliability and validity in nursing organizations）

卒業論文（提出：平成 31 年 1 月 21 日／発表会：平成 31 年 2 月 5 日）  
（学位取得：平成 31 年 3 月 26 日）

荻野 将輝. 都内病院の看護管理者における心理的エンパワメントと支援の関連：横断調査の二次解析

## 教員の活動

武村雪絵

特別講演・教育講演・研修

1. 藍野大学キャリア開発・研究センター. 認定看護管理者教育課程セカンドレベル. 「人的資源管理論」. 2018. 2. 9.
2. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター. 認定看護管理者教育課程サードレベルフォローアップ研修講演会「トップマネージャーの経験を通して～看護管理者に願うこと～」. 神奈川県立保健福祉大学実践教育センター. 2018. 2. 17.
3. 東京都ナースプラザ. 平成 30 年度東京都看護職員定着促進支援事業（アウトリーチ型支援）事業説明会「きらり輝く看護組織へ～中小病院が持つちから～」. 東京都看護協会. 2018. 2. 21.
4. 東京都ナースプラザ. 「看護管理の基本」. 東京都ナースプラザ. 2018. 3. 2.
5. 東京都福祉保健財団. 認定看護管理者教育課程ファーストレベル特別講義「コンピテンシーモデルと看護管理」. 2018. 3. 9
6. 東京都ナースプラザ. 平成 30 年度東京都看護職員定着促進支援事業（アウトリーチ型支援）課題解決研修会「めざす姿をともに探そう！～自施設の課題を明確にし、コアチームと共有する～」. 東京都看護協会. 2018. 6. 4.
7. 公益社団法人医療・病院管理研究協会. 地域密着型病院看護部長の病院管理研修. 「職員が力を発揮できる職場づくり-ミッションとエンパワメントによる管理」. 2018. 6. 8.
8. 公益社団法人東京都看護協会. 「コンピテンシーモデルを用いて自己成長と他者育成のヒントを学ぶ」. 東京都看護協会. 2018. 7. 31.
9. 東京都ナースプラザ. 「看護管理の基本」. 東京都ナースプラザ. 2018. 8. 14-15.
10. 公益社団法人沖縄県看護協会. 「コンピテンシーモデルを活用した看護管理～人材育成のヒントを学ぼう～」. 沖縄県看護研修センター. 2018. 9. 8.
11. 公益社団法人沖縄県看護協会. 「ミッションマネジメントと組織開発～対話に基づく組織開発～」. 沖縄県看護研修センター. 2018. 9. 14.
12. ソウル大学. 特別講義. 「Payment System for Nursing Services for Inpatients in Japanese National Health Insurance」. ソウル大学. 2018. 10. 2.
13. 独立行政法人地域医療機能推進機構. 認定看護管理者教育課程サードレベル. 「ヘルスケアサービスの経営と質管理・経済性」. 2018. 10. 4.
14. 公益社団法人兵庫県看護協会. 看護管理者研修ミドルマネージャーコース「ミッションマネジメント-めざす姿をともに探そう」. 兵庫県看護協会. 2018. 10. 12.
15. 公益社団法人静岡県看護協会. 「コンピテンシーを基盤とした看護管理-成長する組織づくり-」. 静岡県看護協会研修室. 2018. 10. 20.
16. 公益社団法人広島県看護協会. 「ミッションマネジメント」広島県看護協会会館. 2018. 11. 2.
17. 藍野大学キャリア開発・研究センター. 認定看護管理者教育課程セカンドレベル. 「人的資源活用論」. 2018. 11. 24.

18. 独立行政法人国立病院機構中国四国グループ副看護部長連絡会. 「看護管理に活かすコンピテンシー」. 独立行政法人国立病院機構岡山医療センター. 2018. 11. 25.
19. 独立行政法人国立病院機構本部. 認定看護管理者教育課程サードレベル. 「管理者の倫理的意思決定」. 国立病院機構研修センター. 2018. 11. 30.
20. 東京都ナースプラザ. 平成 31 年度東京都看護職員定着促進支援事業（アウトリーチ型支援）事業説明会「きらり輝く看護組織へ～中小規模病院が持つちから～」. 東京都看護協会. 2018. 2. 13.
21. 東京都ナースプラザ. 「看護管理の基本」. 東京都ナースプラザ. 2019. 2. 14-15.
22. 日本看護系大学協議会国際交流推進委員会. 「スマートな国際学会発表をめざして 2」. 東京医科大学. 2019. 3. 24.

#### 非常勤講師

- 福島県立医科大学「看護マネジメント論」. 非常勤講師. 2018. 6. 11.  
 東京女子医科大学「看護管理論」. 非常勤講師. 2018. 6. 26/ 2018. 7. 10.

#### 社会活動

- 日本看護協会. 労働と看護の質データベース事業の推進に関する検討委員会委員長  
 日本看護管理学会. 将来構想委員会委員  
 日本看護科学学会. 評議員, 和文誌査読委員  
 日本看護評価学会. 評議員  
 日本看護系学会協議会. 理事  
 日本医療福祉建築協会. 理事, 医療福祉建築賞選考委員  
 東京都ナースプラザ訪問巡回事業. 事例検討会講師. 課題解決研修講師  
 日本医療機能評価機構. 評価部会員, 訪問審査員

#### 國江慶子

##### 社会活動

- 東京都ナースプラザ巡回訪問事業. 事例検討会講師・交流会講演講師  
 第 49 回日本看護学会（看護管理）論文選考委員  
 東京都ナースプラザ「看護管理の基本」. 東京都ナースプラザ. 2018. 8. 14-15  
 日本看護管理学会 評議員(2018. 10～)

#### 市川奈央子

##### 社会活動

- 日本看護評価学会. 編集委員  
 第 9 回日本看護評価学会学術集会. 実行委員

#### 木田亮平

##### 社会活動

- 第 9 回日本看護評価学会学術集会実行委員

## 研究室業績（2018年1月～2019年3月）

### 原著論文・研究論文

2018年1月～12月）

1. 原田知佳, 津田ひとみ, 市川奈央子, 瀬戸奈津子, 清水安子. 大阪府下の産科施設での妊娠糖尿病女性のフォローアップの実態調査. 大阪大学看護学雑誌. 2018 ; 24(1) : 26-34

2019年1月～3月）

1. 梶井（駒形）万里絵, 武村雪絵, 市川奈央子, 國江慶子, 竹原君江. 短時間勤務看護師の労働アウトカムと関連する業務配分についての研究—職務特性と労働価値に着目して. 医療の広場 2018; 58: 11: 13-16.
2. 駒形万里絵, 市川奈央子, 武村雪絵, 石井馨子, 甲斐貴雅, 佐伯昌俊, 宮本やい子, 鈴木まさ代, 佐藤喜久. 離職期間を経て復職した看護職のワークライフバランス実現度と関連する要因. 日本看護学会論文集（看護管理）. 2019;49:163-166.
3. 佐伯昌俊, 國江慶子, 武村雪絵, 竹原君江, 市川奈央子. 看護職及び看護補助者による看護補助者役割の認識—測定尺度の開発—. 病院. 2019（採択：78(5)掲載予定）

### 書籍

2018年1月～12月）

1. 吉田千文・志田京子・手島恵・武村雪絵（編集）. ナーシング・グラフィカ 看護の統合と実践 (1) : 看護管理 第4版. 大阪: メディカ出版, 2018. 01.

### 総説・報告

2018年1月～12月）

1. 林千冬・武村雪絵. 【対談】新たなケアの創造に, 多様なキャリアや価値観を活かす—人生100年時代を見据えた看護師のキャリア支援. 看護管理, 28(1): 24-30, 2018.
2. 磯部環, 石井絢子, 山本則子. UCLA 大学病院における看護管理. 月刊ナーシング. 38(13): 66-69. 2018.
3. 石井絢子, 磯部環, 五十嵐歩, 山本則子, 岩田恵里子. Fresno 地域病院における麻酔看護師の役割について. 月刊ナーシング. 38(13): 62-65. 2018.
4. 武村雪絵, 玉井奈緒, 山本則子. 特集: アジアの大学を知る 日本の看護研究力を高める—各大学の施設報告2 シンガポール国立大学. 看護研究. 51(7): 634-640. 2018.

### 学会発表

2018年1月～12月）

1. 小澤茉祐, 武村雪絵, 竹原君江, 市川奈央子. 初めて外来化学療法を受けるがん患者への看護師によるアセスメントの実施に関連する職場環境要因—心理面・社会面に着目して. 第8回日本看護評価学会学術集会. 2018. (東京, 3月5日・6日)

2. 川口倅左, 竹原君江, 武村雪絵, 市川奈央子, 駒形和典, 小見山智恵子, 小林康司. 看護師長の心理状態と部下看護師が認識する Leader-Member Exchange (LMX) との関連. 第 8 回日本看護評価学会学術集会. 2018. (東京, 3 月 5 日・6 日)
3. 駒形万里絵, 市川奈央子, 武村雪絵, 石井馨子, 甲斐貴雅, 佐伯昌俊, 宮本やい子, 鈴木まさ代, 佐藤喜久. 離職期間を経て復職した看護職のワークライフバランス実現度と関連する要因. 第 49 回日本看護学会—看護管理—学術集会. 2018. (仙台, 8 月 9 日・10 日)
4. 佐伯昌俊, 國江慶子, 武村雪絵, 竹原君江, 市川奈央子. 看護職及び看護補助者による看護補助者役割の認識. 第 49 回日本看護学会—看護管理—学術集会. 2018. (仙台, 8 月 9 日・10 日)
5. 船越千佳, 國江慶子, 武村雪絵, 竹原君江, 市川奈央子. 病棟再編時の体験による看護師の分類とその特徴—クラスター分析から. 第 49 回日本看護学会—看護管理—学術集会. 2018. (仙台, 8 月 9 日・10 日)
6. 川口倅左, 武村雪絵, 竹原君江, 國江慶子, 市川奈央子, 駒形和典, 小見山智恵子, 相馬光代, 小林康司. 看護師の心理状態と Leader-Member Exchange (LMX) との関連—集団の影響を考慮して. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. (神戸, 8 月 24 日・25 日)
7. 佐伯昌俊, 國江慶子, 武村雪絵, 竹原君江, 市川奈央子. 地域包括ケア病棟の看護補助者が認識する補助者役割と看護職に対する情報共有行動との関連. 第 22 回日本看護管理学会学術集会 第 22 回日本看護管理学会学術集会. 2018 (神戸, 8 月 24 日・25 日)
8. 船越千佳, 國江慶子, 武村雪絵, 竹原君江, 市川奈央子. 病棟再編時に看護管理者から受けた支援・組織的公正と看護師の組織コミットメントとの関連—職務経験年層別の分析. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. (神戸, 8 月 24 日・25 日)
9. 磯部環, 武村雪絵, 國江慶子, 竹原君江, 市川奈央子, 池田真理, 駒形和典, 小見山智恵子, 川崎つま子, 相馬光代. ビジョンについての病棟看護師長の語りの比較: ビジョン言語化の困難さ. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. 2018. (神戸, 8 月 24 日・25 日)
10. 奥山絢子, 武村雪絵. 看護の質のモニタリング—文献調査からみた看護助産ケア指標. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. 2018. (神戸, 8 月 24 日・25 日)
11. 駒形万里絵, 武村雪絵, 市川奈央子, 竹原君江, 國江慶子. 短時間勤務で働く病棟看護師の職務特性に関する横断研究—労働価値観を考慮した職務満足との関連. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. 2018. (神戸, 8 月 24 日・25 日)
12. 磯田礼子, 大和田真知子, 柴野清子, 古家幸代, 國江慶子, 武村雪絵. 中小規模病院看護管理者へのアウトリーチ型支援の有効性—受けた支援の認識とリーダー効力感の変化に注目して. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. 2018. (神戸, 8 月 24 日・25 日)
13. 石井馨子, 甲斐貴雅, 市川奈央子, 武村雪絵, 佐伯昌俊, 駒形万里絵, 宮本やい子, 鈴木まさ代. 離職看護職の復職後の職場ストレス, 職場支援, 労働条件—復職支援事業参加後の就業意欲の推移による分類別の結果—. 第 22 回日本看護管理学会学術集会. 2018. (神戸, 8 月 24 日・25 日) 【ポスター賞】
14. 鈴木まさ代, 宮本やい子, 甲斐貴雅, 石井馨子, 市川奈央子, 武村雪絵, 佐伯昌俊, 駒形万里絵. 復職支援研修受講翌年度における看護職の就業状況—就業状況別の就職活動および就業先の支援体制の実際. 第 22 回日本看護管理学会学術集会 2018. (神戸, 8 月 24 日・25 日)

15. 木田亮平, 戸ヶ里泰典, 湯本淑江, 森岡典子, 緒方泰子. 女性看護師の家庭役割の有無における上司および同僚からの職場ソーシャルサポートとバーンアウトとの関連. 第56回日本医療・病院管理学会学術総会. 2018. (郡山, 10月27日・28日)
16. 駒形万里絵, 武村雪絵, 市川奈央子, 竹原君江, 國江慶子. 病棟勤務する短時間看護師の業務内容と職務特性との関連. 第56回日本医療・病院管理学会学術総会. 2018. (郡山, 10月27日・28日)
17. 緒方 泰子, 森岡 典子, 湯本 淑江, 武村 雪絵, 西岡 みどり, 武富 貴久子, 田中 理子, 米倉 佑貴, 田中 幸子, 網中 眞由美. 看護職のHealthy Work Environment 特性の解明に向けた前向き研究(第2報) 2016-2017年の調査より. 第56回日本医療・病院管理学会学術総会. 2018. (郡山, 10月27日・28日)
18. 磯部環. 病棟看護師長のビジョン: 数年先の自部署の姿の語りと言語化の難しさ. 第8回東大看護研究シンポジウム. 2018. (東京, 10月27日)
19. Takemura Y, Kunie K, Takahashi Y. Acknowledging and re-acknowledging the boundary between groups of nurses in the workplace after the nuclear accident in Fukushima. 46th Global Nursing and Healthcare. Oct 15-16, 2018. Las Vegas.
20. Kunie K, Takahashi Y, Takemura Y. Separation at workplace after the nuclear accident due to The Great East Japan Earthquake: Is the classification for dividing hospital nurses accurate? 46th Global Nursing and Healthcare. Oct 15-16, 2018. Las Vegas.
21. Takahashi Y, Kunie K, Takemura Y. How nurses recognized their workplace situations when considering whether or not to be at work after the Fukushima nuclear accident: experiences of nurses at hospitals outside the evacuation zone. 46th Global Nursing and Healthcare. Oct 15-16, 2018. Las Vegas.

#### 2019年1月～3月)

1. Saiki M, Kunie K, Takemura Y, Takehara K, Ichikawa N. The relationship between nurses' expectations of nursing assistant roles and the information-sharing behavior in integrated community care wards. 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference. Jan 17-18, 2019, Singapore.
2. Komagata M, Takemura Y, Ichikawa N, Takehara K, Kunie K. Association between part-time work, job characteristics and job satisfaction among ward nurses in Japanese hospitals. 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference. Jan 17-18, 2019, Singapore.
3. Funakoshi C, Kunie K, Takemura Y, Takehara K, Ichikawa N. Mediating effects of positive experience during restructuring in the relationship between frontline manager's support and nurses' organizational commitment. 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conference. Jan 17-18, 2019, Singapore.

4. Takemura Y, Kunie K, Takahashi Y, Sato H. Team management in operating hospitals following the earthquake-triggered nuclear accident in Fukushima: How did nurse managers handle their strained teams? European Nursing Congress March 4-6, 2019, London.
5. Isobe T, Kunie K, Takemura Y, Ikeda M. Relationship among five categories of front-line nurse manager discovered through their narratives. European Nursing Congress March 4-6, 2019, London
6. 甲斐貴雅, 市川奈央子, 武村雪絵, 木田亮平. 看護職が患者に対する怒りに伴い抱える「思考の未統合感」に関する横断研究. 第9回日本看護評価学会学術集会. 2019. (東京, 3月11日・12日)

## 受賞

2018年1月～12月)

1. 【ポスター賞】石井馨子, 甲斐貴雅, 市川奈央子, 武村雪絵, 佐伯昌俊, 駒形万里絵, 宮本やい子, 鈴木まさ代. 離職看護職の復職後の職場ストレス, 職場支援, 労働条件—復職支援事業参加後の就業意欲の推移による分類別の結果—. 第22回日本看護管理学会学術集会プログラム抄録集. 2018: 316. (第22回日本看護管理学会学術集会, 神戸, 8月24日・25日)
2. 【ポスター賞】Kunie K, Takahashi Y, Takemura Y. Separation at workplace after the nuclear accident due to The Great East Japan Earthquake: Is the classification for dividing hospital nurses accurate? 46th Global Nursing and Healthcare. Oct 15-16, 2018, P46. Las Vegas.
3. 【オーラル賞】駒形万里絵, 武村雪絵, 市川奈央子, 竹原君江, 國江慶子. 病棟勤務する短時間看護師の業務内容と職務特性との関連. 第56回日本医療・病院管理学会学術総会. 2018. (郡山, 10月27日・28日)

## 研究助成など

研究助成)

1. 武村雪絵 (研究代表者). 病床再編及び原発事故後の組織運営に関する理論の構築—看護管理学事例研究手法の開発, 平成28年度-平成30年度.
2. 武村雪絵 (研究分担者). Healthy Work Environmentを実現する看護管理モデルの開発. 平成28年度-平成30年度.
3. 國江慶子 (研究代表者). 看護師の経済的・社会的・組織的価値認識—3次元共通価値拡大モデルの構築. 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B), 平成29年度-平成31年度.
4. 市川奈央子 (研究代表者). 看護職のプロフェッショナルリズム育成プログラムの開発に向けて. 日本学術振興会科学研究費補助金若手研究(B), 平成29年度-平成31年度.
5. 國江慶子・武村雪絵・市川奈央子. 中小規模病院看護組織へのアウトリーチ相談型支援提供者の専門的技能及び実践プロセスとその成果の同定—東京都巡回訪問事業支援員と被支援組織を対象としたプロセス分析. 一般社団法人日本看護管理学会研究助成, 平成30年度-平成31年度.



6. 梶井万里絵 (研究代表者: 修士課程 2 年) . 短時間勤務看護師の労働アウトカム向上と関連する業務配分についての研究—職務特性と労働価値に着目して— . 政策医療振興財団研究助成. 平成 29 年度-平成 30 年度
7. 梶井万里絵 (研究代表者: 修士課程 2 年) . 短時間勤務看護師への業務配分と職務特性、労働価値、労働アウトカムの関連. 公益財団法人 医療科学研究所研究助成. 平成 29 年度-平成 30 年度
8. 武村雪絵 (研究代表者) . 看護職員確保対策に向けた看護職及び医療機関等の実態調査. 平成 30 年度厚生労働行政推進調査事業費補助金 (厚生労働科学特別研究事業) , 平成 30 年度
9. 武村雪絵 (研究代表者) . コンピテンシーモデルを用いた 3 層リフレクションによる看護管理者の能力開発プログラムの評価: 準実験研究. 平成 30 年度公益財団法人三菱財団社会福祉事業・研究助成, 平成 30 年度-平成 31 年度

奨学金)

1. 石井馨子 (修士課程 2 年) . ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム (GCL) .
2. 田中慎吾 (修士課程 2 年) . ソーシャル ICT グローバル・クリエイティブリーダー育成プログラム (GCL) .

## 教室の出来事

2018年4月2日 新年度が始まりました。

修士課程大学院生1名、研究生1名を新しく迎えました。博士課程4名が進学し、新たな気持ちで新年度をスタートしました。



2018年4月27日 歓迎会を開催しました。

入学生、5月からの新任の先生、研究室所属の学部生をお迎えし、歓迎会を行いました。客員研究員の先生方にも御参加いただき、楽しい集いとなりました。



2018年5月1日 教員の異動がありました。

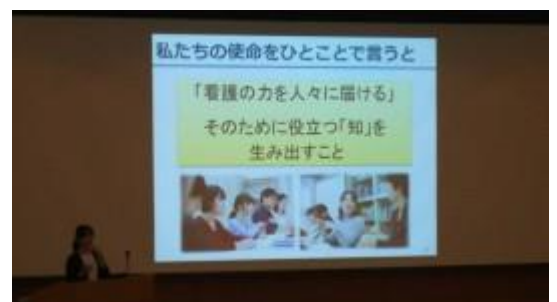
市川奈央子先生が特任助教から助教に就任し、木田亮平先生が新しく特任助教に着任しました。

2018年5月1日 学部生の所属が決定しました。

学部生2名が当基礎看護学教室に所属が決定しました。

2018年5月12日 大学院説明会が開催されました。

5月12日(土)に大学院健康科学・看護学専攻の入試説明会が開催されました。看護管理学分野での説明会にも多くの方にご参加いただきました。



2018 年 5 月 21 日・28～31 日 学部の看護管理学実習を行いました。

学部 4 年生が東京大学医学部附属病院、東京大学医科学研究所附属病院、聖路加国際病院で看護管理学実習をさせていただきました。管理に着目することで、今までの病院実習とは異なる視点から学びを得ることができました。

2018 年 7 月 17～27 日 学部の基礎看護学実習を行いました。

学部 3 年生が東京大学医学部附属病院で基礎看護学実習をさせていただきました。学びの多い実習となりました。

2018 年 7 月 27 日 前期慰労会を開催しました。

春学期を終え、慰労会を行いました。8 月の学会発表や秋学期にむけ英気を養いました。



2018 年 8 月 9 日・10 日 第 49 回日本看護学会—看護管理—に参加しました。

当研究室からは 3 演題発表しました。



2018 年 8 月 14 日・15 日 東京都ナースプラザ研修で講義を行いました。

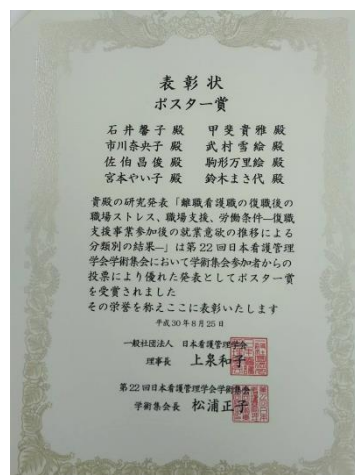
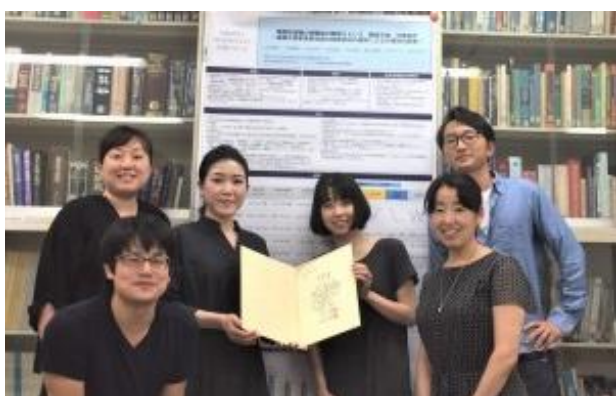
武村准教授が東京都ナースプラザで行う「看護管理の基本」の講義に、研究室から教員と博士課程院生が演習ファシリテーターとして参加しました。講義の中で、院生は修士課程で取り組んだ研究成果

も紹介しました。年2回の企画で、次回は2月の開講です。

2018年8月24日・25日 第22回日本看護管理学会学術集会に参加しました。

第22回日本看護管理学会学術集会は神戸で開催されました。当研究室から共同研究も含め9演題発表を行いました。

東京都ナースプラザと共同研究をおこなっている潜在看護職の研究では、ポスター賞を受賞しました。



2018年8月24日納涼会を行いました。

第22回日本看護管理学会学術集会の期間中に開催地神戸で納涼会を行いました。客員研究員の先生にも御参加いただきました。



2018年10月2日 武村准教授がソウル大学で講演しました。

ソウル大学 Kim, Jinhyun 教授より招聘を受けて、武村准教授が「Payment System for Nursing Services for Inpatients in Japanese National Health Insurance」のタイトルで講演を行いました。ソウル大学及び近隣大学の教員や大学院生の他、韓国医療保険局長官など様々な方が参加してください、情報交換を行いました。



2018年10月15日・16日 46th Global Nursing and Healthcare に参加しました。

ラスベガスで開催された46th Global Nursing and Healthcareに参加し、当研究室から3演題ポスター発表しました。Best Poster Awardをいただきました。



2018年11月9日・10日 第56回日本医療・病院管理学会学術総会に参加しました。

郡山市で開催された第56回日本医療・病院管理学会学術総会で2演題の発表を行いました。博士課程1年駒形万里江さんが発表した演題でオーラル賞を受賞しました。

2019年1月17日・18日 22nd East Asian Forum of Nursing Scholars (EAFONS) conferenceで発表しました。

第22回EAFONSはシンガポールでの開催でした。当研究室から3演題発表しました。



2019年1月9日 修士論文を提出しました。

修士課程の学生5名が修士論文を提出しました。終了後、ランチ会をしました。



2019年1月21日 卒業論文を提出しました。

研究室に所属する学部生1名が卒業論文を提出しました。

2019年1月25日 修士論文審査会が行われました。

修士論文を提出した5名が修士論文審査会で発表しました。

2019年1月25日 新年会を開催しました。

修士論文審査会と卒業論文提出の慰労会と合わせ、新年会を開催しました。緊張感からも解放され、和やかな会となりました。



2019年2月5日 卒業論文発表会が行われました。

研究室に所属する学部生1名が発表しました。終了後、ささやかな打ち上げを行いました。



2019年2月14日・15日 東京都ナースプラザ研修で講義を行いました。

武村准教授が東京都ナースプラザで行う「看護管理の基本」の講義の2回目が開講（1回目は8月）されました。研究室から教員と博士課程院生が演習ファシリテーターとして参加しました。



2019年2月27日 院生が東京大学フューチャーファカルティープログラムを修了しました。

博士課程1年磯部環さんと、修士課程1年の井上真帆さんが東京大学が開催する、教育力向上を目的とした「東京大学フューチャーファカルティープログラム（東大FFP）を修了しました。



2019年2月22日 院生慰労会を開催しました。

院生同士での慰労会。OGも参加し日ごろの頑張りを労いました。



2019年3月4日・5日 Euro Nursing Congress で発表しました。

当研究室からは2演題発表しました。



2019年3月11日・12日 第9回日本看護評価学会学術集会で発表しました。

東京で開催された第9回日本看護評価学会学術集会では、当研究室から1演題発表しました。

2019年3月19日 福島の研究について意見交換を行いました。

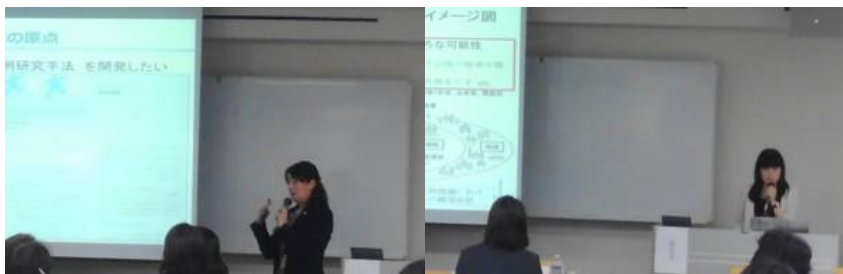
研究室で進行中の研究課題「福島県内の看護管理者が直面した葛藤と意思決定—東日本大震災後の看護組織運営」に関連して、福島県立医科大学大学院生の大戸実さんとお互いの研究について報告・意見交換を行いました。





2019年3月24日 日本看護系大学協議会（JANPU）の研修会で発表しました。

日本看護系大学協議会（JANPU）の国際交流推進委員会企画で開催された研修会「スマートな国際学会発表を目指して2」で武村雪絵准教授と修士2年生の高橋好江さんが国際学会でのポスター発表の経験とそのサポートについて講演を行いました。



2019年3月25日 大学院修士課程の学位授与式が行われました。

当研究室からは5名が修士課程を修了しました。修士号取得おめでとうございます。



学位授与式当日夜に、感謝の会を行いました。この1年また今までの感謝の気持ちを共有しました。また就職する学生の新たな門出もお祝いしました。



2019 年 3 月 26 日 学部の卒業式が行われました。

基礎看護学教室からは、学部生 2 名が卒業しました。ご卒業おめでとうございます。



2019 年 3 月 31 日 修士課程修了生 2 名と学部生 2 名が研究室を卒業しました。

ご活躍を期待しています。